

令和3年度 裾花幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

いっぱい遊んで、元気に挑戦!!

2. 本年度の重点目標

- ・頭と心と体をつかって、主体的に活動する遊びの時間を創造していく。
- ・友だちと健康を大事にして、けじめある生活をしていく。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・すべての項目でB以上の評価ができているのは良い。(同意見3名)
- ・遊びの中で、子どもたちが主体的になってきたのを感じられるのも幼稚園におかげだ。(同意見3名)
- ・地域との連携について評価が低い結果になっていたが、今年度は仕方なかったと思う。(同意見3名)
- ・一番大切なのは、子どもたちが安全に園生活を送ることなので、引き続き感染対策を徹底して、改善点があれば、どのような対策管理をしているのか保護者に伝えてほしい。(同意見2名)

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 園目標から「遊びを通して子どもの成長を図る」園運営の方向は良いと思う。そのための環境づくりを全職員で考え工夫していくこと、人的環境として職員全体で子どもを支援することも良いと評価されたので、今後も継続していく。その具体を園長中心に職員全体でどう進め実践していくかが今後の課題である。
- (2) 昨年同様、地域役員との会合が中止になり、区長以外のつながりがもてず、地域のニーズや状況を知る機会がとれなかった。また、モニター会やPTAとの会合は計画しても実施できず、保護者向けに今年の園運営の方向を話す園長講話も実施できなかった。通信だけでは十分に運営の意図が伝えきれず、一部保護者に誤解を生んでしまった。一方向からの発信やアンケート回収以外の双方向の意見交換方法を検討したい。
- (3) 子どもの安全管理マニュアルに関しては、コロナ対応を含めて見直し、職員間で共通理解し保護者に改善点を知らせていきたい。